

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 11 回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

- ①平成 29 年度地域協議会の活動実績について（公開）
- ②平成 30 年度地域協議会の活動について（公開）
- ③空き家対策に対する今後の協議の進め方について（公開）

○報告事項

- ①平成 30 年度上越市予算・牧区関連事業について（公開）
- ②牧区総合事務所 4 月 1 日付け人事異動について（公開）
- ③平成 29 年度『灯の回廊』開催結果について（公開）

3 開催日時

平成 30 年 3 月 27 日（火）午後 6 時 30 分から午後 7 時 30 分まで

4 開催場所

牧区総合事務所 3 階 301 会議室

5 傍聴人の数

0 人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：丸山 進（会長）、折笠弘志、金井貞子、佐藤祐子、清水薫、中川よしえ、
西山新平、前山美智弘
- ・事務局：牧区総合事務所 高橋所長、宮腰 G 長、綿貫班長、近藤主任、板倉区総合
事務所 新井班長

8 発言の内容（要旨）

【綿貫班長】

- ・会議の開会を宣言

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【丸山会長】

- ・挨拶

去る 3 月 16 日に、板倉区総合事務所を中心としたブロック牧、中郷、清里、板倉の 4 つの区の正副会長会議が開催された。開催された理由について、4 つの区は中山間地が抱えている共通の問題があるため、合同研修会を開催してはどうかという提案があった。この 4 つの区であわせると委員が総勢 50 人となる。一堂に会して勉強会をするということで、一つのテーマを決めてやるのは大変であることから、講師を招いた中で勉強会をした方がよいという話となった。講師はまだ決まっていないが、今回は、板倉区総合事務所及び板倉区地域協議会委員の皆様で取りまとめてもらう関係上、板倉区地域協議会会長に一任して事務局と相談しながら講師を決定することとなった。詳細が決まり次第、情報が入る。開催日は 6 月または 7 月頃となる。これを当番制として持ち回りとする。順番が決まっており、牧区、中郷区、清里区、板倉区の順番となる。順序に従い平成 31 年度は牧区が幹事当番、少なくとも 4 会場で 4 回開催する予定。

【高橋所長】

- ・挨拶

【丸山会長】

- ・会議録の確認：折笠弘志委員に依頼

協議に入る前に板倉区総合事務所から連絡事項の説明を求める。

【新井班長】

本日は 2 つ報告する。

まずは、深山荘の源泉が施設に辿りつかなくなってしまった旨、先月の地域協議会で説明したが、その後、調査を行い動きがあったので報告する。3 月 14 日の午前中に温泉の元へ行ってきた。バックホウで掘り起こし確認したが温泉は問題なく来ていた。雪消えをみて、温泉の復旧を進めて元通りに供給を再開したいと考えている。

2 つ目は、牧ふれあい体験交流施設の管理人の常駐時間の変更を 4 月から行いたい。年間 308 日間開館し、これまで、午前 9 時から午後 5 時までの 8 時間開館していた。利用実態をみると、年間の利用件数 44 のうち約 73%が午後 4 時までの利用となっている。4

月以降、常駐する時間を短くして運営していく。常駐が短くなるだけであり、利用時間の変更はない。4月1日号のおおるり通信、市のホームページで周知する。

【丸山会長】

板倉区の新井班長から説明が終わった。この件について質問はあるか。

【一同】

なし。

【丸山会長】

協議事項に入る。(1)平成29年度地域協議会の活動実績について、事務局の説明を求める。

【綿貫班長】

資料1により説明

【丸山会長】

何か意見、質問等はあるか。

【一同】

なし。

【丸山会長】

次に、(2)平成30年度地域協議会の活動について、事務局から資料2について説明願う。

【綿貫班長】

資料2により説明

昨年度に引き続き、丸山会長と相談しながら、事務局サイドで大まかなスケジュール案を作成させていただいた。定例会は第4火曜日を基本とし組んであるが、都合が悪ければ、随時変更していただければと思う。4月は28日(土)に地域活動支援事業のヒアリングを実施する。平日の夜に何回かに分けて実施してはどうか、との意見をいただいたが、会長と事務局で相談し、12人の委員が何日も集まるのは、現実的に難しいだろうと判断した。毎回違った委員がヒアリングするというのも好ましくないので、1日に集中して実施することにした。また、今年度実施した事前の勉強会については、ヒアリングを実施した段階で、必要かどうかの判断をする。5月以降は定例の地域協議会の他に、6月の地区懇談会への同行を案として入れた。また、板倉区、清里区、中郷区、牧区の4

区合同研修会を6月～7月にかけて行うことが、4区の協議により決まっている。日程など、詳細が決まったら、改めて案内する。また、平成31年度は牧区が主管となることも決定済み。視察研修を10月下旬に組み込んでみたが、合同研修会とは別に視察研修が必要かどうか、協議いただきたい。

【丸山会長】

新年度の活動について、意見はあるか。

【一同】

なし。

【丸山会長】

次に、(3) 空き家対策に対する今後の協議の進め方について、会長としての考えを述べる。空き家問題をどうするのではなく、地域協議会としては、これからの空き家を出来るだけ出さない、発生させない方法に向けて各地区の方へ呼びかけをしてはどうか。その場合は、集落としての申し合わせ事項等々を決めていただくということ。その他、利活用の方法等々を我々としては検討し、それにはどういう方法があるのかということ意見を意見として出してもらいたいような方法。空き家が危険な状況を市伝え速やかに取り壊しの方向をお願いすること。その3つくらいで絞って、それをまとめてこの空き家問題を終了というような方向でもっていきたいと思っている。その他、忌憚のない意見を求める。

【清水委員】

町内会長にどんなようなデータを出したか。

【綿貫班長】

表をとりまとめた数字である。

【丸山会長】

各集落に危険家屋がどれだけとか、我々が調査したものをまとめたもの。

【清水委員】

何か反応はあったか。

【綿貫班長】

何もない。

【金井委員】

それは、全町内会のものを一覧にして出したのか。

【綿貫班長】

はい。

【中川委員】

空き家の利活用に関し提案したい。区内の道路沿いの空き家を、地域活動支援事業を利用して修繕し、子育て世代の移住希望者に提供する。子どもが小・中学校を卒業するまでは転出しないなどの誓約書を取った上で、お試しハウスのような形で移住者を募集してはどうか。子育て中のシングルマザーが多いことから、このような人達の支援にもつながり、よいことだと思う。しかし、職場探しや除雪も地域で手伝うなど、みんなで一丸とならなければだめ。牧はみんな温かくよい所だよとの評判が広まれば、移住者も来るのではないかな。

【丸山会長】

中川委員から空き家の利活用の意見が出た。利活用の話し合いの中では、その他の意見もあると思う。それをまとめて必要なら市へ提案したり、地域の方へ情報として流すなど、1つずつ目標を決めながら、問題をみんなで話し合い、都度まとめるというような方向で行きたいと思い提案した。

【中川委員】

景観を維持するためには、道路沿いを抑えておけばよい。その集落単位で協議し、空き家にしない対策をとりながら、生活困窮者を支援する方向になればよいと思う。何もしないより何か発信すれば、移住につながっていくのではないかな。

【丸山会長】

今、利活用についての話が出された。これは自主審議事項ではなく、検討課題として取り上げていく。順序としては、中川委員からの利活用の方策について、次の話し合いで行う方がよいと思うが、いかがかな。

【中川委員】

集落の中でお願いをしていくというのが、一つのテーマなのではないかな。

【丸山会長】

5年後10年後にも通用する問題。次回の空き家に関する自主検討課題の中で項目を絞り、空き家の利活用方策について、皆さんから意見を賜りながら進めたいがいかがかな。

【清水委員】

この前、新聞報道だったと思うが、中郷区のNPO法人が、空き家の情報を収集して発信するというのが出ていた。詳しい内容を伺いたい。

【丸山会長】

資料として取り寄せる。現に相談員を配置しているようだ。

【中川委員】

可能であれば移住者の声を聞きたい。

【西山副会長】

中川委員の提案である移住者の受け皿を形とするためには、現在の空き家状況をもっと詳細に把握しない限り難しい。

【中川委員】

そのとおり。

【西山副会長】

昨年に続き、また調査が必要となる。まだ新しい家が空き家になっているとすれば、持ち主が売るかどうかは別として、すぐ住める状態の空き家もあれば、何十年も放置され、廃屋に近い空き家もある。

【中川委員】

自分の提案は、あまりお金をかけずに入れる家が前提。

【西山副会長】

実態把握の調査をまだやる必要があると思う。

【中川委員】

話を先に進め、それから家を見たが誰も来なかったというのではいけないため、調査は並行してやってもいいと思う。

【丸山会長】

話し合いの過程の中で1つの話を絞り、必要であれば調査をする。1つの議題というか、根幹が決まっているので進めていく。その1つがある程度結論付いたら、また次の問題・ステップへ進めていくことでよいのではないか。何回の話し合いで次のステップに行くかは、その都度となるが、そのような順序としたいと思う。

それでは、次に移ってよいか。

【一同】

なし。

【丸山会長】

4 報告事項について、(1)～(3)までの件について事務局から説明を願う。

【所長】

資料3、4により説明

【綿貫班長】

資料5により説明

【丸山会長】

説明に対して質問はあるか。

それでは5 その他に移る。連絡事項を事務局から説明願う。

【綿貫班長】

配布資料について説明

【丸山会長】

その他、委員からの意見等を求めるが無く、会議の閉会を宣言する。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。